施工説明書

INAX

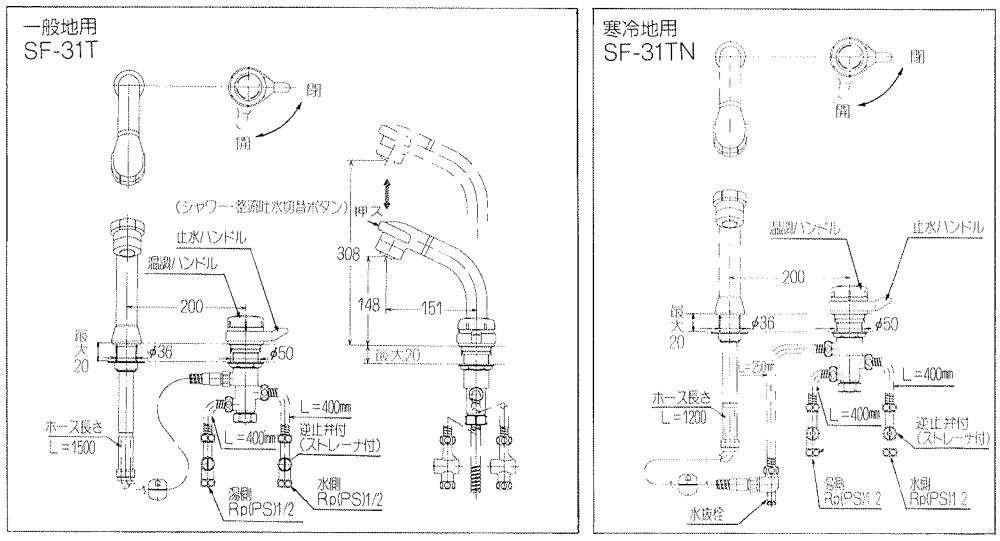
サーモスタット付洗髪シャワー混合水栓

一般地用 SF-31T　寒冷地用 SF-31TN

IE

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図



※吐水口側の穴あけ寸法はφ36±2、ハンドル側はφ50で行なってください。カウンター厚は嵌大20mm。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

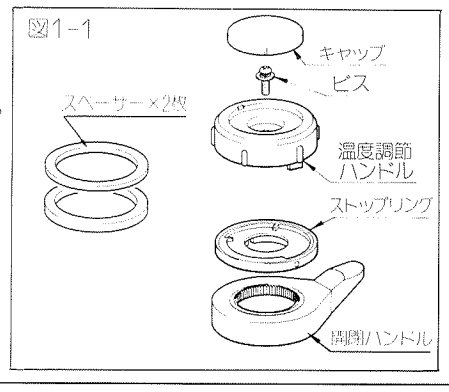
●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要水圧…A＋0.06MPa{0.6kgf/㎠}
　　最高水圧……0.59MPa{6kgf/㎠}
Aはガス給湯器の最低作動水圧です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
{ 給水圧力……0.05～0.59MPa{0.5～6kgf/㎠}
{ 給湯圧力……0.05～0.10MPa{0.5～1kgf/㎠}

●測定条件
※開閉ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。
●給水圧力が0.59MPa{6.0kgf/㎠}を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20～0.39MPa{2～4kgf/㎠}程度)に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高くしてください。ただし55℃以上の温水は吐出しない構造となっています。
●給湯に**蒸気**は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに温が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な専用工具(HG-18)を用意してください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には必ず商品に布等をあてて保護してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
●開梱、取付けの際には、商品の表面にキズを付けないよう十分注意してください。
●必ず**配管中の異物**を完全に洗い流してください。



●施工方法

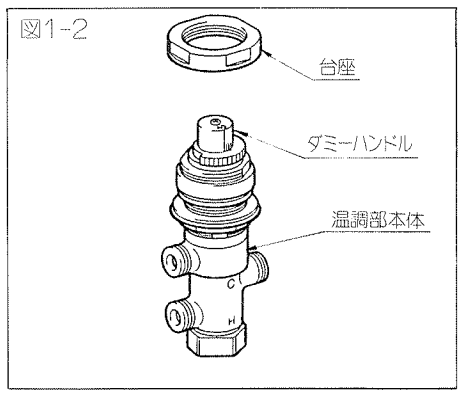
1．事前準備
(1)同梱包されている部材を確認します。（図1-1）
(2)温調部本体より台座を外します。（図1-2）

※ダミーハンドルを外しますと温度設定が合わなくなりますので注意してください。また、ダミーハンドルを回さないようにしてください。

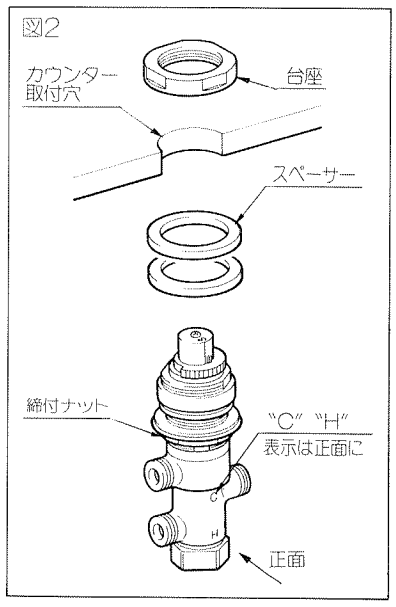
(3)カウンターの厚みを測り、表1で必要なスペーサーの枚数を決めます。

表1

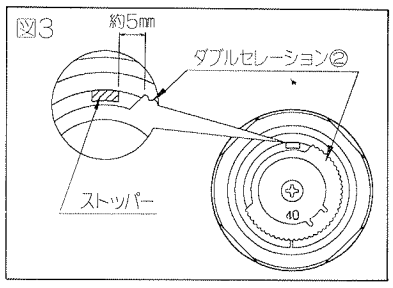
カウンター厚さ(mm)	スペーサー枚数
7以上～12未満	2枚
12以上～17未満	1枚
17以上～20以下	なし



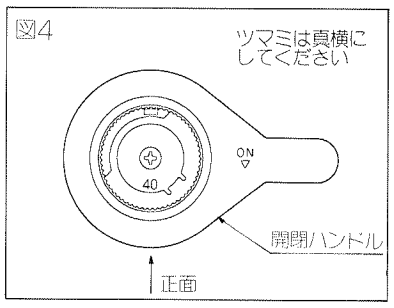
2．温調部本体の固定（図2）
必要な枚数のスペーサーを入れ取付穴に本体を差し込んだ後、台座を締め付けます。温度部本体の〝C〟〝H〟表示側を正面にします。
※本体をカウンターに固定する際には、締付ナットを別売の専用工具(HG-18)を使用し、十分に締め付けてください。
※台座に直接モーターレンチ等の工具を当てますと、**塗装表面にキズがつく**ことがありますので、乾いたタオルなどを当てて工具を使用してください。
※カウンターの厚みが17mm以上の場合は、スペーサーは必要ありません。



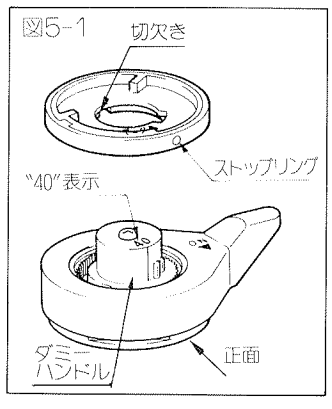
3．ダブルセレーションの位置確認（図3）
ダブルセレーションを反時計方向に止まる位置まで回します。そこでダブルセレーションを外し右図のようにストッパーから約5mmすき間をあけてダブルセレーションをはめます。

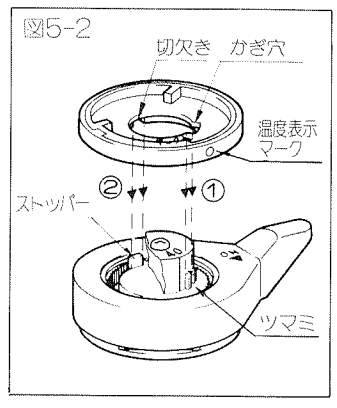


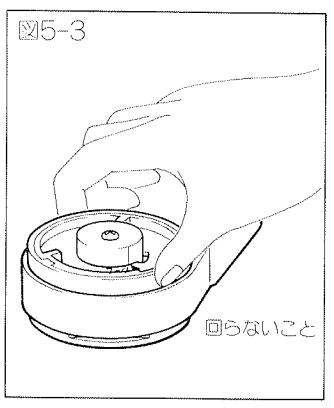
4．開閉ハンドルの取付け（図4）
開閉ハンドルのツマミが真横になるようにはめ込みます。
※開閉ハンドルは軽く押し付け、確実に下まで押し付けてください。



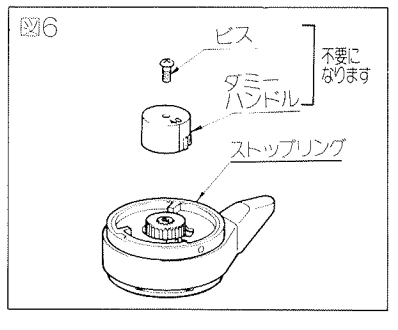
5．ストップリングの取付け
(1)ダミーハンドルの〝40〟表示が正面になっていることを確認します。（図5-1）
(2)ストップリングの方向を確認します。切欠きを下にします。（図5-1）
(3)ストップリングのかぎ穴とダミーハンドルのツマミを合わせ、ストップリングをはめます。
※ストップリングの切欠きがストッパーにはまり込むように軽くストップリングを回してください。（図5-2）
※ストップリングが回らないことを確認してください。（図5-3）







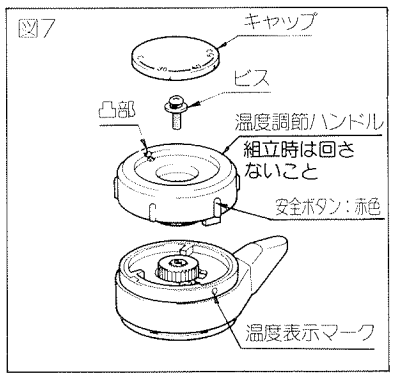
6．ダミーハンドルの外し方（図6）
ダミーハンドルが**回転しないよう**にビスを外しハンドルを外します。
※ダミーハンドル、ストップリングの位置がズレますと吐出温度がズレたり、組付不良の原因になります。外したダミーハンドルとビスは不要になります。



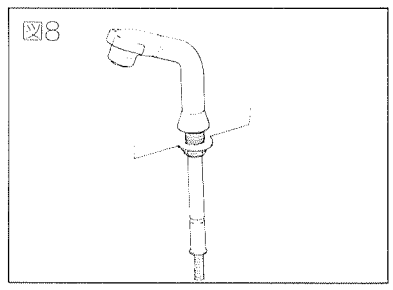
株式会社INAX

本社　☎0569-35-2700
横浜支社　☎045-242-1710
甲信支社　☎0263-36-2166
京滋支社　☎075-222-1794
札幌支社　☎011-271-1701
千葉支社　☎043-227-8171
名古屋支社　☎052-201-1717
広島支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-263-1710
埼玉支社　☎048-667-4848
静岡支社　☎054-251-1710
四国支社　☎0878-21-1701
東京支社　☎03-5541-7111
東関東支社　☎0286-37-3378
北陸支社　☎0762-64-1710
福岡支社　☎092-471-1710
西東京支社　☎0425-27-3341
関越支社　☎0273-27-1793
大阪支社　☎ 06-539-3500
南九州支社　☎096-322-1794

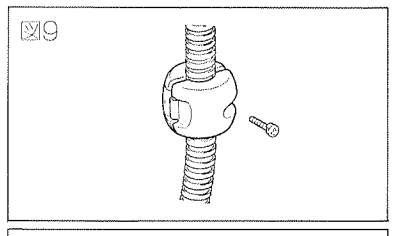
7．温度調節ハンドルの取付け（図7）
温度表示マークと赤色の安全ボタンを合わせてはめ込み、ビス、キャップを取り付けます。キャップのはめ込みはハンドルの凸部にキャップの溝がはまる位置にしてください。
※吐出温度がズレている場合は、温度調節ハンドルを調節しなおしてください。
（温度調節の項参照）



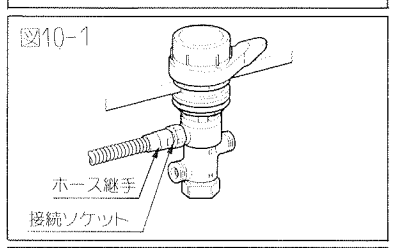
8．吐水口部の取付け（図8）
※固定には別売の専用工具(KG-9)を使用し十分締め付けてください。

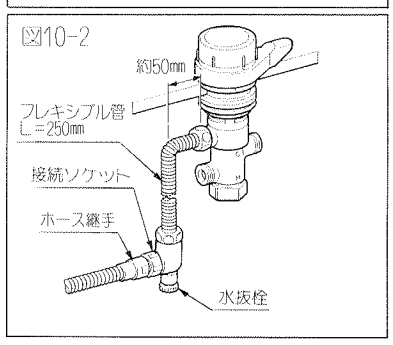


9．ホーススストッパーの取付け（図9）
ホースの引出し長さが約400㎜になるように取り付けます。
※ホースの赤テープの位置に取り付けてください。

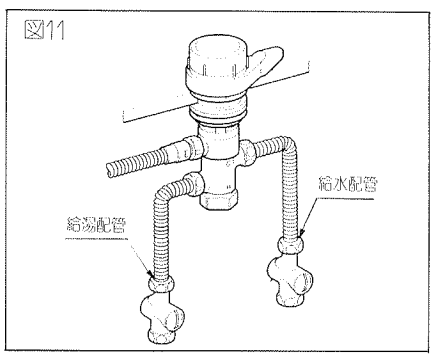


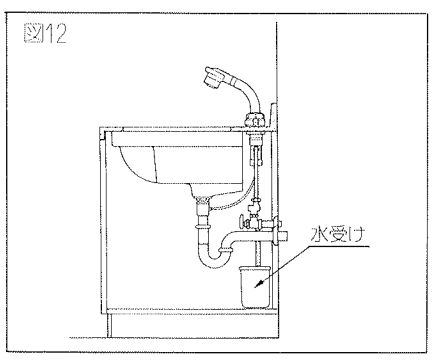
10．シャワーホースの取付け
ホース取付後ホースにねじれのないことを確認します。
〈一般地用〉SF-31T（図10-1）
接続ソケット固定後、ホース継手を接続します。
〈寒冷地用〉SF-31TN（図10-2）
フレキシブル管を図のように曲げ本体に接続します。(あらかじめフレキシブル管に水抜栓と接続ソケットを組み付けておいてください。)ホース継手を接続します。





11．給水、給湯配管の取付け（図11）
12．水受けの設置（図12）
使用中ホースを伝わって水が浸入することがありますので必ず水受けを設けます。
※洗面化粧台に水受けが付属されていない場合は、別途用意ください。





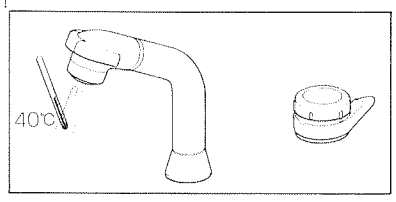
●施工後の調節

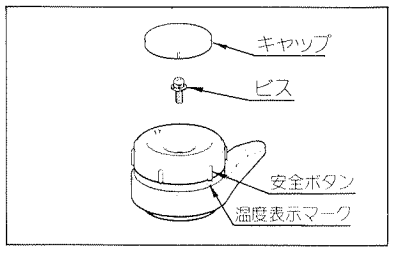
●流量調節
水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa{2kgf/㎠}を超える場合は、水側の止水栓を絞って、温度調節ハンドルを「C」(「50」）に合わせて全開吐出させたときの吐出量を10L/分程度（洗面器一杯にするのに約20秒弱）にしてください。

●温度調節
温度調節ハンドルの温度目盛と吐出温度が合わなくなった場合は、次の要領で調節してください。

1．調節の前に
(1)湯側と水側の止水栓が十分開いているか？
(2)湯側と水側のストレーナーが詰まっていませんか？
(3)使用する温度より10℃以上高い温度のお湯がきていますか？

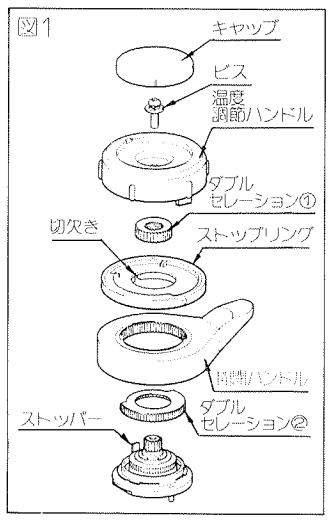
2．調節手順
(1)全開吐出させて、温度目盛に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。
(2)吐出温度が40℃に合ったところで開閉ハンドルを閉め、温度調節ハンドルが回転しないように注意してキャップ、ビスを外してハンドルを抜き取ります。
(3)温度表示マークに安全ボタンを合わせてハンドルを取り付けます。

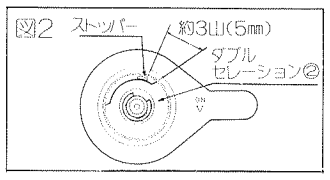




●止水位置の調節

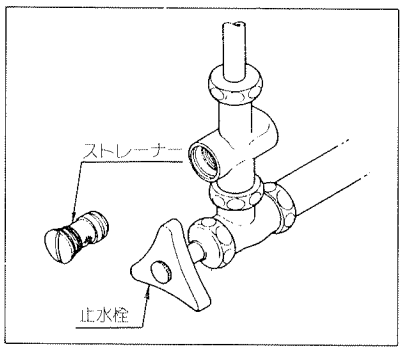
止水が悪くなった場合は、次の要領でハンドルをはめ直してください。
1．図1のようにハンドルを外します。
温度調節ハンドルは〝40〞位置で抜き取ります。
2．通水して止水位置を確かめます。
3．その状態のまま図2のようにダブルセレーション②をはめてください。
4．この位置で開閉ハンドルをつけます。
（ツマミは真横にしてください。）
5．温度調節ハンドル部を組みたてます。
ストップリングの切欠きは、ストッパーにはめてください。吐出温度がズレている場合は、温度調節ハンドルを調節しなおしてください。（温度調節の項参照）





●ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。次の要領で掃除してください。
1．止水栓を閉じます。(湯と水両方)
2．止水栓上部にあるストレーナー付逆止弁をドライバー等で左に回して取り外します。取り外したストレーナーについたゴミ等を洗い流してください。落ちにくいゴミはブラシ等で取り除いてください。

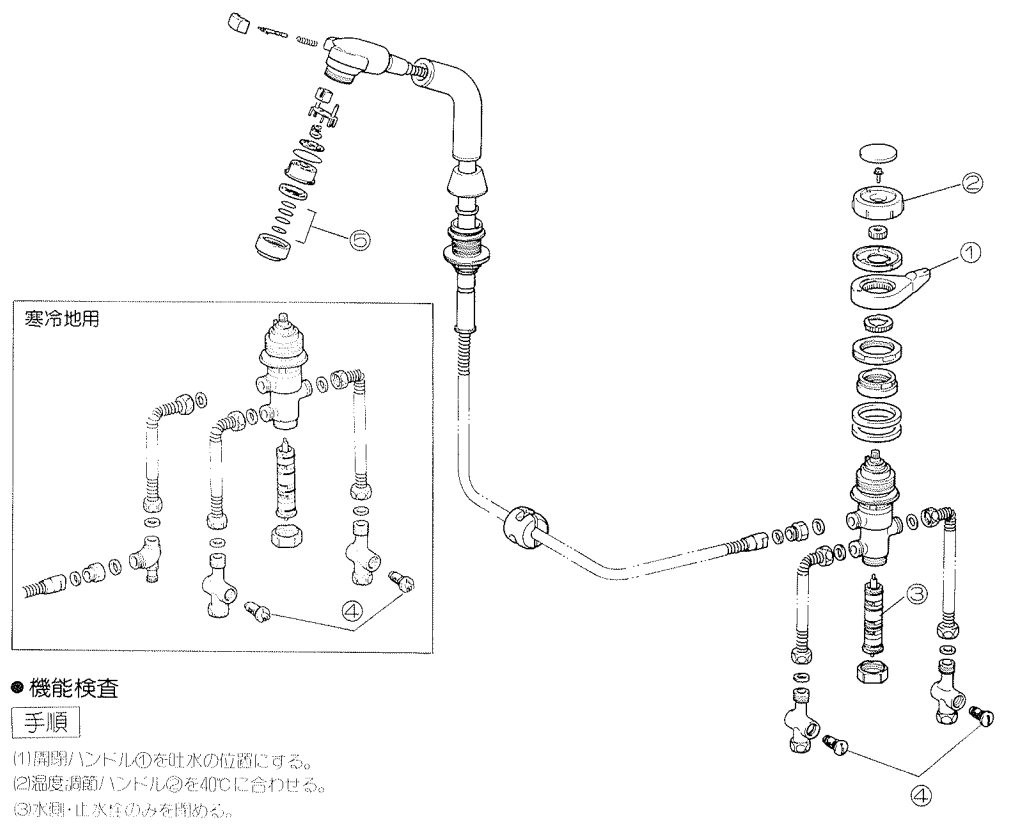


●引渡前の確認

引渡前の調節および故障時の点検は以下の要領で行なってください。

●故障と点検

故障	点検内容	点検箇所	処理
流量が少ない	圧力は十分か？		使用条件の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を除く。
	ストレーナーのゴミ詰まりは？	④⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水栓は全開か？		止水栓を十分開く。
水が止まらない	キズ、ゴミかみはないか？		ゴミ等を水で洗い流す。
	止水位置の調節は良いか？	①	止水位置の調節の項参照。
湯水の逆流がある	ストレーナー付逆止弁は正常か？（ゴミ、砂かみは？）（シートに傷は？）	④	ゴミ等を水で洗い流す。キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	湯、水は水栓まできているか？		使用条件の項参照。
	ストレーナーのゴミ詰まりは？	④	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水栓は全開か？	止水栓	止水栓を十分開く。
	温度調節は良いか？	②	温度調節の項参照。
	温調カートリッジは働いているか？	③	機能検査の項参照。



●機能検査

手順

(1)開閉ハンドル④を吐水の位置にする。
(2)温度調節ハンドル②を40℃に合わせる。
(3)水側・止水栓のみを閉める。
※このとき吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。
※吐出が止まらずそのままであれば制御部の故障ですから取換えが必要です。
(4)湯側・止水栓のみを閉める。
※このとき吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。
※吐出が止まらずそのままであれば制御部の故障ですから取換えが必要です。